

会 議 録

会 議 名	佐久市立天来記念館協議会
日 時	6月11日(金) 午後1時30分～2時40分
場 所	駒の里ふれあいセンター 2F会議室
出 席 者	委員6名
	事務局4名(文化振興課長、天来記念館長、文化振興課職員2名)

【会 議 内 容】

1 開 会

- 2 あいさつ 文化振興課長・天来記念館長・会長
(委員・事務局自己紹介)

3 会議事項

- (1) 令和2年度事業報告について

別添報告書のとおり事務局より説明。

- (2) 令和3年度事業計画(案)について

別添事業計画書のとおり事務局より説明し、計画(案)は承認。以下の質問や提案、意見が出された。

質疑応答

委員：臨書体験コーナーの設置において体験指導とあるが、講師をするのか。

事務局：誰でも気軽に筆の確認のできる場所と考え、体験指導については館長が行います。

委員：臨書展の出品数が年々増えてきた。賞の受賞者については展示を行う旨は伝えあっているが、展示替えの時期等が伝わっていないため、来年度からこのようなことがないように対応していただきたい。

委員：出品者に対して前期、後期に展示替えを行う通知は個々に行っているのではないか？

事務局：作品の展示期間については、個人宛てに審査結果報告と一緒に通知しご案内しております。昔は行き違いということがあったのかもしれないが、そのようなことが無いように丁寧に対応していきたい。

委員：臨書展の運営委員の方、特に一部の事務局の方は大変な仕事量である。本来天来先生の趣旨は賞を与えることを望んでいる方ではない。

臨書展は良い試みではあるが・・・

ただ事務局だけが苦勞しており、審査員等、共催の言い出した方々が手伝わないことはいかがなものか。臨書展の運営のあり方について考えていけないといけない。

委員：今年度で10回であるため、一区切りとして見直す時期である。

委員：4年前から評議員がいなくなって審査の評価の公平性が失われている。

事務局：昨年においては審査を東京にお願いしたことから、あちらでも大変さを分かってもらえたと思う。今年はこちらで行う予定であるので、皆さんのご協力をお願いしたい。

委員：書籍の販売について天来記念館に来館しなくても、書籍の通信販売はできないのか？
書店に行っても、天来記念館に来るにも遠方の方は大変である

事務局：来館者のために物販販売しているもので、書籍は天来記念館のものではないので、直接書院に注文していただくようになります。